

5 体を鍛える

1 子供の体力向上（指導部）

(1) 総合的な子供の基礎体力向上方策の推進

長期的に子供の体力が低下している中、平成31年度には、戦後において子供の体力がピークであったとされる昭和50年代の水準にまで向上させることを目標として、総合的な子供の基礎体力向上方策を推進する。

ア 「子供の体力向上推進本部」等の設置

平成21年5月に「子供の体力向上推進本部」を設置し、総合的な子供の基礎体力向上方策として、平成22年7月に「第1次推進計画」を、平成25年2月に「第2次推進計画」を策定した。引き続き子供の体力低下問題を社会全体で解決していくための検討を行う。

イ 東京都統一体力テストの実施

都内公立学校の全ての児童・生徒を対象とした東京都統一体力テストを実施し、児童・生徒一人一人に結果を還元し、一人一人が自ら課題を持って体力向上に取り組むことができるようにするとともに、実態把握と評価・分析に基づく授業改善を行う。

ウ 「一校一取組」・「一学級一実践」運動の推進

都内全ての公立学校において、体力向上に向けた具体的な取組を展開するとともに、優れた取組や実践を報告書に取りまとめて配布し、参考資料として活用する。

エ 中学生「東京駅伝」大会の実施

中学校教育の一環として、中学生の健康増進や持久力をはじめとする体力向上、スポーツの振興及び生徒の競技力の向上を目的として、区市町村対抗の駅伝競走を実施する。

(2) オリンピック教育の推進【新規】

2020年オリンピック・パラリンピックの東京での開催を踏まえ、幼児・児童・生徒が、積極的にスポーツに親しみ健康増進や体力向上を図るとともに、オリンピックの歴史やオリンピックムーブメントの意義、オリンピック・パラリンピックが国際親善や世界平和に果たす役割などについて正しく理解し、心身の調和的な発達を遂げ、進んで平和な社会の実現に貢献することができるよう、オリンピック教育を推進する。

ア オリンピック教育推進校の指定

都内公立幼稚園、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校の全ての校種から300校をオリンピック教育推進校に指定する。

イ オリンピック教育推進校への人的措置

オリンピック教育推進校における学校体育の一層の充実を図るため、ティームティーチングや少人数指導のための非常勤講師を措置する。

ウ オリンピアン・パラリンピアン为学校派遣「一日校長先生」事業の実施

オリンピック・パラリンピアンの方の考え方や生き方に直接触れることにより、スポー

ツへの関心を高め、夢に向かって努力したり困難を克服したりする意欲を高め、夢や希望にあふれた学校生活を送ることができるようにする。

エ オリンピック教育推進のための補助教材の作成・配布

児童・生徒が、オリンピックの歴史やオリンピックムーブメントの意義、オリンピック・パラリンピックの国際親善や世界平和に果たす役割等を正しく理解することをねらいとして、オリンピック教育推進のための補助教材を作成・配布する。

2 平成 26 年度全国高等学校総合体育大会（インターハイ）の開催（指導部）

平成 26 年度全国高等学校総合体育大会「煌めく青春 南関東総体 2014」を関東ブロック南関東四都県（東京都、千葉県、神奈川県、山梨県）で合同開催する。

(1) 総合開会式の開催

平成 26 年 8 月 1 日に味の素スタジアム（調布市）において平成 26 年度全国高等学校総合体育大会総合開会式を実施する。高校生の健全育成を目指す全国高等学校総合体育大会の開幕を宣言するとともに、トップアスリートである選手の入場行進や大会を運営する高校生の姿を全国に広くアピールする。

(2) 競技種目別大会の開催

ア 開催競技等

以下の 7 競技を東京都内で開催する。

競技名	会場	開催期間
体操競技・新体操	国立代々木第一体育館	8 月 2 日（土）～ 9 日（土）
バレーボール	東京体育館及び墨田区総合体育館	8 月 2 日（土）～ 11 日（月）
サッカー女子	駒沢オリンピック公園総合運動場 味の素スタジアム西競技場	8 月 2 日（土）～ 6 日（水）
相撲	国技館	8 月 5 日（火）～ 7 日（木）
弓道	東京武道館	8 月 7 日（木）～ 10 日（日）
テニス	有明テニスの森公園	8 月 2 日（土）～ 8 日（金）
なぎなた	東京武道館	8 月 2 日（土）～ 4 日（月）

イ 東京オリンピック・パラリンピックに向けた取組等

(ア) 競技会場にオリンピック等を招き、オリンピック・パラリンピックの気運の醸成を図る。

(イ) 各会場に競技体験コーナーを設け、来場者がスポーツに親しむ機会の充実を図り、スポーツの振興に寄与する。

3 部活動振興と競技力向上（指導部）

(1) 部活動の振興

部活動振興基本計画を踏まえ、指導者の減少や生徒のニーズの多様化等の課題に対応していくとともに、生徒の個性・能力の伸長や社会性、生涯にわたる文化・スポーツ等に親しむ態度を育成するために、部活動の振興を図る。

ア 運動部活動指導者講習会の開催

運動部活動の実技や事故防止等について講習会を開催し、顧問教諭の指導力向上

に努める。

イ 全国高等学校総合体育大会（インターハイ）への参加

総合体育大会への参加を通して、都内中学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校の生徒の健全育成、健康増進及び運動部活動の振興を図る。

ウ 部活動推進指定校の指定

部活動の推進及び体力の向上を図る取組を通して、特色ある学校づくりを一層推進し、生徒の体力や気力を向上させる。

エ 青少年を育てる課外活動支援事業

専門的指導や高度な技術指導を必要とする部活動に対し、相応の資格や指導力を有する外部指導員を重点的に導入する。

オ 地域との連携による都立特別支援学校の部活動振興事業

特別支援教育の充実に資するため、都立特別支援学校の部活動に地域の外部指導員を導入し、児童・生徒の個性や能力を一層伸長する。

(2) 部活動による競技力向上

平成 26 年度全国高等学校総合体育大会（インターハイ）の開催を踏まえ、運動部活動による競技力向上を一層推進する。

ア 都立高校における「スポーツの名門校」づくりに向けた強化拠点事業

都立高校に各スポーツの強化拠点を指定し、全国大会等に出場できるよう競技力の向上を一層促進する。

イ 都立高校における県外遠征の実施

東京都と北海道夕張市による自治体間連携モデル事業の一環として、都立高校生の県外遠征を実施し、競技力の向上を図る。

(3) 体罰のない部活動の推進【新規】

学校体育団体等と連携を図り、全ての顧問教諭や外部指導員を対象として指導者講習会を開催し、基本的なスポーツの指導方法、言葉で伝える力を高める指導法等を研修する。また、生徒の意欲を高める部活動指導を普及するため、児童・生徒の発育・発達や能力・志向に応じて、生き生きとした学校生活につながるような部活動指導を実践している顧問教諭を顕彰し、「Good Coach 賞」を授与する取組などを推進する。